

平成20年度森林環境基金事業の実績見込みについて

I 森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

事業概要

手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源地域の森林について、事前調査及び間伐等の森林整備を実施した。

森林整備事業（県営） 1,922ha 事業費 584,823千円
 森林整備促進事業（補助） 1,000ha 補助額 224,122千円

○H20実績見込み

・県営事業 計画量2,086haに対して、実績は1,922ha（対計画比 92%）。

区分	事前調査		森林整備		bのうちH21に森林整備を実施する予定のもの d=(a+b)-c	備考
	H19調査分 a	H20調査分 b	H20計画	H20実績 c		
県計	582	1,794	2,086	1,922	454	単位：ha
北	14	98	148	89	23	
中	58	504	573	470	92	
南	115	262	320	340	37	
会津	76	205	294	269	12	
南会津	44	64	44	57	51	
相双	147	180	283	261	66	
いわき	130	481	424	436	175	

※値は、各事務所毎に単位未満を四捨五入しているため、積上合計と県計は必ずしも一致しない。

・補助事業 計画量1,600haに対して、実績は1,000ha（対計画比 63%）。
 他に、H19からの繰り越し分として900ha実施。

○実績累計見込み

森林整備面積：県営 4,565ha+補助 3,196ha= 7,761ha

2 森林環境適正管理事業

事業概要

森林情報を一元的に管理するとともに、地図を活用した森林情報を広く県民等に発信するため、森林GISシステムの構築を進めた。

森林情報（GIS）活用推進事業 補助額 39,087千円

○H20実績見込み

- ・業務委託により、森林資源情報システム、施業履歴管理システム及び森林情報発信システムを開発。（検討委員会の有識者による技術的な指導を受けながら実施。）
- ・森林GISを有効に活用するために、長伐期化に対応した森林情報を整備。

○実績累計見込み

- ・森林資源情報システム、施業履歴管理システム及び森林情報発信システムを開発。（森林情報発信システムは、H21.4月中旬よりweb公開予定）
- ・森林GISの有効活用のため、GPSを導入、長伐期化に対応した森林情報を整備。

II 森林資源の利用促進

3 間伐材搬出支援事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援した。

間伐材運搬経費支援事業	25,000m ³	補助額 12,500千円	(500円/m ³)
林内作業路整備支援事業	50,000m	25,000千円	(500円/m)

○H20実績見込み

- ・計画通り実施。

○実績累計見込み

- ・間伐材運搬経費支援 66,777m³
- ・作業路整備支援 134,000m

4 間伐材利用促進事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、県有施設工事への間伐材活用、県管理施設等に間伐材を主体とする木材製品や資材の利用展示を行う安らぎの場の創出、間伐材や製材端材等の木質バイオマスの循環利用を推進するペレットストーブの導入支援を実施した。

県有施設の間伐材利活用推進事業	事業費	4,500千円
「ほっと」スペース創出事業		3,499千円
ペレットストーブ利用推進事業	補助額	2,500千円

○H20実績見込み

- ・県有施設の間伐材利活用推進事業

東ヶ丘公園（南相馬市）木柵設置（土木部 L=156m）。

- ・「ほっと」スペース創出事業

福島県文化センターにテーブル3台、ベンチ7台、看板1基を設置。

ビッグパレットふくしまにベンチ3台、掲示板1基を設置。

JR東日本 新白河駅にテーブル2台、イス8脚、案内板1基を設置。

棚倉合同庁舎にテーブル1台、ベンチ2台、マガジンラック1基を設置。

会津若松合同庁舎県民ホールにカタログ棚5台を設置。

会津湯野上温泉駅にベンチ4台、本棚1基を設置。

道の駅そうまに丸テーブル3台、万能イス12脚、ベンチ3台を設置。

富岡合同庁舎に机1台を設置。

いわき海浜自然の家にテーブル2台、イス付きテーブル2台を設置。

- ・ペレットストーブ利用推進事業

民間施設への50台の導入を支援。

○実績累計見込み

- ・県有施設の間伐材利活用推進 3施設
- ・間伐材利用拡大モデル 2タイプ（常設1カ所、移動用1式）
- ・「ほっと」スペース創出 県有施設等20施設
- ・ペレットストーブ利用推進 県有施設25カ所（25台）、民間施設等97台、計122台。

III 県民参画の推進

5 森林環境学習推進事業

事業概要

県民を対象として、各流域の特色を活かした森林環境ゼミナールを開催するとともに、森林環境学習に必要なフィールドの整備を行い、森林環境学習の推進を図った。

森林環境ゼミナール開催事業	事業費	2,090千円
森林環境学習の森整備事業		5,026千円
森林環境学習の森整備		(1,050)
学校林森林環境学習の森整備		(3,976)

○H20実績見込み

- ・森林環境ゼミナール開催事業は、流域毎に実施し524名参加。

会津流域	9月13日(猪苗代町)	116名
阿武隈川流域	11月16日(二本松市)	74名
奥久慈流域	10月25日(矢祭町)	104名
磐城流域	6月21日(いわき市)	100名
	10月18日(いわき市)	130名
- ・森林環境学習の森整備は、村火県有林(県南)で実施。
- ・学校林森林環境学習の森整備は、会津農林高校で実施。

○実績累計見込み

- ・森林環境ゼミナール 13回開催、参加者1,467名
- ・森林環境学習の森整備 4カ所
- ・学校林森林環境学習の森整備 3カ所

6 森林ボランティア総合対策事業

事業概要

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアサポートセンターを設置するとともに、森林づくりを先導する事業やボランティア団体の活動を支援するほか、企業の森林づくりへの参加推進に努めた。

森林ボランティアサポートセンター設置事業	事業費	5,167千円
森林ボランティア活動推進事業	補助額	5,717千円
森林ボランティア活動活性化事業		(990)
森林ボランティア団体活動支援事業		(4,727)
環境貢献企業の森林保全参加推進事業	事業費	98千円

○H20実績見込み

- ・森林ボランティアサポートセンターを引き続き県民の森内に設置し、ホームページ及び広報誌(森ボラ新聞4回発行)によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を実施。
- ・森林ボランティア活動活性化事業は、うつくしま21森林づくりネットワークの森林づくり推進連絡会議及び森林づくり活動発表交流会に対して補助。延べ105名が参加。
- ・森林ボランティア団体活動支援事業は、22団体に対して補助。
- ・環境貢献企業の森林保全参加推進事業では、企業の提供できるフィールドの掘り起こし

と企業からの森林づくり活動に対する相談等に対応。また、(社)国土緑化推進機構主催の「企業の森づくりフェア2009」(平成21年3月4日、東京都)へ出展し、福島県における企業の森林づくりを県外企業へPR。

○実績累計見込み

- ・森林づくり活動発表交流会 3回開催、延べ参加者411名
- ・森林ボランティア団体活動支援 延べ59団体(60件)

7 もりの案内人等指導者養成事業

事業概要

もりの案内人を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境やその指導方法に関する研修会及び森林整備ボランティア団体のリーダーを養成した。

もりの案内人第2期養成事業	事業費	1,892千円
森林づくり指導者養成事業		1,063千円
森林環境学習指導者育成		(247)
森林ボランティアリーダー養成		(816)

○H20実績見込み

- ・もりの案内人に25名を認定。
- ・森林環境学習指導者育成を、もりの案内人等を対象に実施、参加者31名。
- ・森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者13名。
- ・平成19年度より森林ボランティアリーダー育成講座受講者のうち5日間以上の森林整備の指導実績を積んだ者を福島県グリーンフォスターに認定。平成20年度認定者7名。

○実績累計見込み

- ・福島県もりの案内人認定者 H9からの認定者368名
- ・森林環境学習指導者育成 参加者94名
- ・森林ボランティアリーダー育成講座研修 修了者54名
- ・福島県グリーンフォスター認定者 H15からの認定者84名

8 森林環境教育指導者養成セミナー事業

事業概要

小学校教員、中学校教員、公民館指導員等を対象とし、森林環境教育の指導者を養成する。

森林環境教育指導者養成講座の開催	事業費	721千円
------------------	-----	-------

○H20実績見込み

県内3方部で、森林環境教育指導者養成講座を開催(参加者84名)

- ・中通り会場:「ふくしま県民の森」8/4~5(参加者38名)
- ・会津会場:「国立磐梯青少年交流の家」:7/28~29(参加者25名)
- ・浜通り会場:「いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘」:7/24~25(参加者21名)

9 県立学校における森林環境学習推進事業

事業概要

県立学校において、森林を守り育てる意識の醸成等を図るため、森林環境調査、木材チップの製造と利用、製炭と木炭利用、きのこ栽培、和紙手漉きなどの体験的な森林環境学習を実施した。

森林整備と雑木の有効利用を図る取組み（会津農林高）	事業費	980千円
森林資源の保全（森林調査、間伐等）（岩瀬農高）		839千円
森林資源を守り育てる意識を育てる（田島高）		1,064千円
森林となかよくなるろう（森林観察等）（あぶくま養護学校）		376千円

○H20実績見込み

- 会津農林高校 木材チップの有効利用について座学。
林地残材をチップ化し、木材チップの堆肥化実験、造園材料（マルチング）としての利用、炭化試験を実施。
- 岩瀬農業高校 森林調査（照度、植生など）、間伐材利用実態調査、きのこ培養、間伐材を利用したきのこの原木栽培を実施。
- 田島高校 築窯、製炭を実施し、炭による河川水質浄化に取り組んでいる。
製材加工について見学等により学習し、木工を実施。
- あぶくま養護学校 県民の森等の森林観察、海老根和紙手漉き体験を実施。

○実績累計見込み

- ・実施学校数 4校（のべ9校）

IV 森林文化の復興

10 ふくしまの森林文化復興事業

事業概要

ふくしまの森林文化を見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化を掘り起こし、県民に分かりやすい形で公表するためのデータベースの作成を行った。

事業費 6,897千円

○H20実績見込み

- ・調査業務等を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託して実施。
- ・検討委員会及び部会を開催し、森林文化の事例調査、データベース構築を進めるとともに、広く県民に向けた分かりやすい広報について検討。
（県立博物館、アクアマリンふくしま、まほろん、県歴史資料館の4館連携による森林文化に関する企画展をH22に開催する予定）
- ・森林文化フォーラムの開催（2月7日開催）、参加者200名。

V 森林環境の調査研究

11 森林整備効果実証事業

事業概要

森林整備による効果を実証するため、森林整備事業のモデル地域において、水環境の変化等を調査研究した。

事業費 167千円

○H20実績見込み

- ・昨年度に引き続き白河市1と二本松市2の調査地3箇所（量水試験）で観測を実施。（H21末には、調査結果を取りまとめ公表する予定）

12 木質バイオマス等利用による園芸施設の開発事業

事業概要

木質バイオマス燃料（木質ペレット）及び太陽光発電等自然エネルギーを活用することで、化石燃料を極力用いない省エネルギー型園芸施設を開発し、その実用性を検証する。

事業費 3,000千円

○H20実績見込み

- ・農業総合センターの園芸施設に、イチゴを定植、ペレットボイラーを導入、太陽光等自然エネルギー蓄電型発電装置システム等を設置し、試験を開始。

VI 森林環境基金の運営

13 森林環境基金運営事業

事業概要

森林環境税に対する県民の理解を深めるため、パンフレット配布やホームページ等による広報、交流会の開催等を行った。

森林環境税関連施策PR事業	事業費	3,024千円
森林の未来を考える懇談会運営事業		1,059千円
森林整備シンポジウム開催事業		900千円

○H20実績見込み

- ・パンフレット（税と用途）、グッズ（鉛筆、カットパン）、ポスター、ホームページによりPR。
- ・全国緑の少年団大会、ふくしま森林の感謝祭、全国生涯学習フェスティバル、全国環境学習フェア、森林整備シンポジウム、県林業祭、県育樹祭、食彩ふくしま地産地消フェスタ、ふくしま環境・エネルギーフェア等のイベントにおいてPR。
- ・メディアツアーを実施し、県政記者に事業実施箇所を紹介。
- ・森林の役割と森林を守り育てることの大切さについて、県政広報番組「うつくしま情報局（FTV）」で放映。（1月18日）
- ・県政広報ラジオ（イブニングブレイク）、月刊誌（林業福島）によりPR。
- ・水源区域の森林整備交流会（7生活圈毎）を開催し、上下流の交流の中で森林整備の重要性をPR。参加人数334人。
- ・森林整備シンポジウムを開催し、森林環境基金事業の実施状況及び間伐等の森林整備の推進をPR。参加人数250人。

・森林の未来を考える懇談会の開催（年間計5回開催）

第1回懇談会（6月4日開催）

平成19年度事業実績の報告、平成20年度事業概要の報告

第2回懇談会（8月7,8日開催）

平成19年度事業の調査（現地調査）

第3回懇談会（10月27日開催）

平成18・19年度事業の実施状況と評価について報告

第4回懇談会（12月16日開催）

平成21年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査

平成21年度の新たな事業仕組みについて協議

第5回懇談会（3月27日開催）

平成20年度事業実績見込みの報告、平成21年度事業概要の報告

○実績累計見込み

- ・森林環境フォーラム等 参加者600名
- ・メディアツアー 2回
- ・水源区域の森林整備交流会開催 14回、参加者645名
- ・懇談会開催 14回

VII 市町村が行う森林づくりの推進

14 森林環境交付金事業

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫をこらした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付した。

森林環境基本枠 全ての市町村が一定の取り組みを継続的に実施する 78,518千円

【対象分野】 県民参画の推進
森林の適正管理推進
森林環境学習の推進

地域提案重点枠 市町村の創意工夫による優れた提案事業 141,924千円

【対象分野】 森林整備の推進
県産間伐材の利活用推進
木質バイオマスの利活用推進
その他

○H20実績見込み

・森林環境基本枠

78,518千円,60市町村実施（いわき市6,893千円～湯川村538千円 平均1,308千円）

森林環境学習実施校：小学校289校、中学校90校、計379校。（全774校の49%）

・地域提案重点枠（事業申請：44市町村、104件、要望事業費：222,673千円）

平成19年12月17日開催のH19第4回森林の未来を考える懇談会において審査。

交付金額141,924千円、41市町村、79件実施。

○実績累計見込み

・森林環境基本枠 交付金額236,881千円

森林環境学習実施校：小学校370校、中学校118校、計488校。（全774校の63%）

・地域提案重点枠 交付金額421,386千円、53市町村、226件。